

農委

なかがわ

令和4年2月

編集発行

那珂川町農業委員会

那珂川町馬頭555

☎ 92-1185



久那瀬 高野 寛さんのトマトハウス



新たな農地利用最適化に向けて

那珂川町農業委員会 会長 荒井 武

日頃より、農業委員会活動に対し、深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。新体制が発足し、おかげさまでつつがなく7カ月が経過しました。

農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化、後継者及び担い手不足、有害鳥獣や近年の異常気象等による農作物被害、人口減少による消費の低迷等厳しい状況が続いております。

特に昨年は、新型コロナ禍による外食需要の減少から、米概算金が大幅な下落となってしまいました。

農業委員会は、法令に基づく農地の権利移動などの許認可により農地の保全に取り組むとともに、必須業務となった農地利用の最適化いわゆる「担い手への農地利用の集積・集約化」「新規参入の促進」、「耕作放棄地の発生防止・解消」等の活動を行い、地域の農業振興の一役を担ってまいりました。このような中、一昨年になりますが、町内全域を対象に「人・農地プラン」の実質化に向けた話し合いが行われ、令和3年3月に実質化された人・農地プランが公表されました。多くの地区で農業従事者の高齢化や後継者・担い手不足など様々な課題が見えてきました。それらの課題を踏まえ、地域の担い手である中心経営体に農地を集約化していくための方針や、将来に向けた農業生産活動を維持するための方針が示されたところであります。農業委員会組織は、改正農業委員会法施行5年経過を踏まえ「新たな農地利用最適化」に取り組むことを申し合わせ決議されました。

このような中、遊休農地の解消を目指すため、農業委員会では小川地区・馬頭地区の一部を除き、農地取得にかかる下限面積を50アールから30アールに引き下げました。また、空き家に付属する農地の下限面積を1アールとしたことは、非農業者が農業のある暮らしを目指して当町へ移住しやすくなったといえます。

当町のような担い手の高齢化・減少により集約・集積の推進が困難な中山間地域等において、持続的な土地利用の観点から地域の話し合いをベースに多様な農地利用・保全活動を通し、地域にあった形で進めていくことが大切であると思います。東部地区においては米のブランド化への取り組みの動きもあるようです。

農業委員会は、地域の姿をみんなで考え、更なる農業振興とよりよい農村社会に向けた活動を進めてまいりますので、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

農業委員会委員・農地利用最適化推進委員 担当地区一覧

任期：令和4年7月1日～令和6年6月30日まで（敬称略）

担当地区	農業委員	推進委員	担当地区	農業委員	推進委員
馬頭	西宮 一美	齋藤 裕一	1区	川上 早春	山口 昌樹
健武	荒井 武	益子 稔	2区・3区	佐々木文子	飯塚美知夫
矢又	星 フミ子	星 昌一	4区・5区	船見 和哉	橋本 征雄
和見	小高 辰也	小高 栄二	6区(吉田)・9区(東戸田・神田町)	小口 一郎	板橋 了寿
小口	古内 朝次	岡 一俊	6区(谷田)・7区	三尾谷武人	佐藤 昌孝
北向田	磯野 均	深澤 幸浩	8区	小口 一郎	小口 俊一
久那瀬	高野 寛	高野 康雄	9区(三輪1～3区)・10区	磯部 正美	瀧田 敏夫
松野・富山	磯野 元壽	佐藤 康夫	11区		高村 安英
盛泉	大金 正美	齊藤 正二	11区(山崎)	穴山 正一	船見 吉伸
谷川		薄井 和則	12区		
大内・大那地	佐藤 次男	薄井 博文	13区		
大山田下郷	益子 波子	小口 一穂	14区	川上 早春	穴山喜一郎
大山田上郷		岡崎 一夫			
小砂	笹沼 享一	高野 富夫			

令和4年度 町農林業等施策並びに予算編成に関する建議要望



令和3年11月22日那珂川町役場に於いて、那須南農業協同組合、那須南森林組合と合同で、町への建議要望を行いました。

担い手不足や耕作放棄地の増加、農林水産物の価格低迷など農林業、農山村を取りまく環境が深刻化していく中、それぞれの機関から要望がなされました。

農業委員会からは、荒井会長と磯野農村振興専門委員長が出席し、福島町長に対し要望書の提出を行いました。

要望事項の主なものは次のとおりです。

要望事項（一部抜粋）

- 担い手への農地の集積・集約化について
 - ①中心経営体(多様な担い手)の育成・確保の推進
 - ②農地中間管理事業活用の推進
- 耕作放棄地の発生防止・解消について
 - ①担い手育成支援の拡充
 - ②有害鳥獣対策の拡充
- 新規参入の促進について
 - ①農業次世代人材投資事業の推進
 - ②新規参入への誘致策の充実
- 農業等施策・予算について
 - ①米価安定に向けた取組み
 - ②農業用施設整備費予算の拡充
 - ③スマート農業の推進



地産地消で
町に元気を!

Lighten up and Switch 136

ライティン

アップ

アンド

スイッチ

イチサンロク

2021年6月に薬利にオープンしたLighten up and Switch 136の磯野勇さん・奈央子さん夫婦をご紹介します。

Q：プロフィールを教えてください。

A：那珂川町北向田出身です。東京の飲食店で約20年勤務後、2018年にUターンし2021年3月まで町の地域おこし協力隊として勤めていました。妻はフィットネスインストラクターをしており、ヨガ教室を開いたり、去年は町の健康イベントの講師もしました。

Q：お店をオープンすることになったきっかけを教えてください。

A：自分の強みである食を通じて、自分が生まれ育った町・地元へ元気・活気を取り戻したいと思いました。

Q：おすすめメニューを教えてください。

A：工房米夢の特製米粉バンズと栃木黒毛和牛を100%使用した「L & S 136バーガー」です。メニューは地産地消で、地元産・栃木県産食材の素材を生かしています。土日祝日限定で、八溝ししまるを100%使用した「ジビエバーガー」もあります。



人気No.1! L&S136バーガー



Q：今後の目標を教えてください。

A：飲食業の既成概念にとらわれることなく、様々なことにチャレンジして、町の活性化に少しでも貢献していきたいと思っています。

「たくさんの方と出逢えて楽しいです。気軽にご来店ください。」と語るにこにこ笑顔が素敵な磯野さんご夫婦でした。

住所：那珂川町薬利803-5 TEL：83-8940

農業委員研修に参加して

昨年8月に護国会館において農業委員研修に参加しました。研修テーマは、「農業委員会を巡る情勢と新たな農地利用最適化について」です。その取り組みは今後新たな段階に入り、更に深掘りする時期に来ているとの事です。

以下、私の所感よりも講義の一部をお伝え致します。その取り組みとは、1. 担い手への農地利用の集積・集約化、2. 遊休農地の発生防止・解消、3. 新規参入の促進があります。

その活動は、①農地パトロールと意向調査、②人・農地プランによる話し合い、③農地中間管理機構によるマッチング等、3つのステップからなります。農地中間管理機構は県の公的機関であり、農地の貸し借りを仲介する事業で一定の要件を満たせば協力金交付等のメリットもあります。



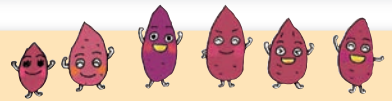
また課題もあります。担い手の不足、高齢化等です。年々増加する遊休農地に切迫した危機感を覚えます。農地利用最適化のポイントは、「耕されている農地を耕せるうちに耕せる人につないでいく」ことが特に重要であると思いました。

(農業委員 大金 正美)

遊休農地解消・発生防止対策事業 (わかあゆ認定こども園との 農業・食育体験)



「さつまいもの定植に参加して」



5月25日、年長組がさつまいもの苗の定植を体験しました。当日は、文句なしの晴天で長靴に履き替えたこども達は、大きな声で「いってきまーす!」と手を振り、張り切って出発。畑に到着すると、那珂川町農業委員会・J Aなす南青壮年部の方々が待っていてくれ、さつまいもの種類、苗の植え方についての説明をしてくれました。「この苗が本当にさつまいもになるの?」と不思議そうにしながらも早速、苗植えに挑戦。「ななめにさして土をかぶせるんだよ」「抜けないようにお布団(土)をしっかりとかぶせよう」などと子どもたち同士で確認し合いながら真剣にそして、「大きなおいもになりますように」と願いを込め一本一本丁寧に植えていました。

園に戻った後も「べにはるかかはねっとりして甘いんだよね。」「べにあずまはほくほくしてるんだよね。」とさつまいもの話題で盛り上がり、凶鑑でいもの生長を見たり「大学芋食べたことある?」「おいしいよね。」「さつまいもごはんにして食べたいな!」と収穫後のことを想像し、嬉しそうに話したりしていました。農業体験学習会を通して、こども達はたくさんのことを学び、考えました。ありがとうございました。(わかあゆ認定こども園)



「さつまいもの収穫に参加して」

芋づるを切りマルチをはがしたら、さつまいも掘りの始まりです。土から抜け出ているさつまいもの大きさにみんなびっくり! 私たちも童心に帰り、園児たちと一緒に夢中になってさつまいもを掘り出します。あっちからもこっちからも、「うわー大きい。もう少し掘って。」「とれた、とれた。」など、いろいろな言葉が行きかう中で、みんなで収穫の喜びを味わいました。

私も去年からさつまいも作りに挑戦していますが、どんなさつまいもに出会えるのかと「わくわく、ドキドキ」しながら掘り上げ、大きくても小さくても収穫は楽しいし、また来年は今年よりも良いものを作ろうと思うのです。

園児たちの喜んでる姿を見ていると、遊休農地を利用して一人でも多くの方に収穫の喜びを味わっていただく遊休農地発生防止対策事業の継続と、遊休農地の減少に貢献できればと切に願う体験でした。

(農業委員 星 フミ子)



那珂川町の下限面積が一部引き下げられました

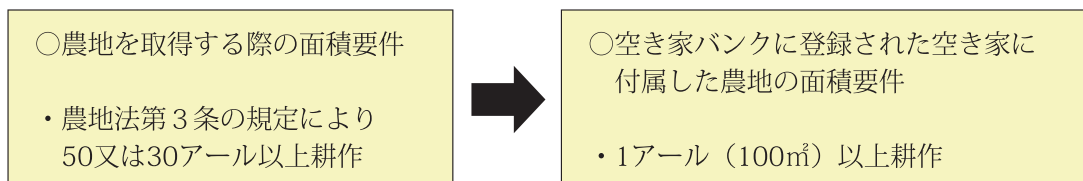
農地法で定められている下限面積（都府県：50a、北海道2ha）は、地域の平均的な経営規模や耕作放棄地の状況などからみてその地域の実情に合わない場合には、農業委員会で別段の面積を定めることができることとなっています。

那珂川町農業委員会では令和3年12月総会で審議した結果、下記の指定地域においては耕作放棄地が相当程度存在することから、耕作放棄地の拡大防止や農地の流動化を図るため、別段の面積を設定することとしました。（令和4年1月1日から施行）

指 定 地 域	設 定 面 積
馬頭、健武、矢又、和見、富山、盛泉、谷川、大内、大那地、大山田下郷、大山田上郷、小砂	30アール（3,000㎡）
上記以外の地域	50アール（5,000㎡）

空き家に付属した農地を取得する際の面積要件を緩和しました

那珂川町農業委員会では、遊休農地の解消、移住・定住の促進を図るため、那珂川町空き家バンク（那珂川町資源情報バンク）に登録された空き家に付属した農地については、令和2年10月1日から面積要件を緩和しました。対象となる農地は、那珂川町農業委員会の指定を受けた農地のみです。



指定を受けたいとき、対象農地を取得したいときは各種要件がありますので、事前にご相談ください。

- 空き家バンクに関するお問合せ
- 企画財政課なかがわぐらし推進係 92-1114
- 空き家に付属した農地に関するお問合せ
- 農業委員会事務局 92-1185



終身年金で
安心！

詳しくは... 農業者年金基金 検索
<https://www.nounen.go.jp>

知って得する！ 農業者年金

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金

「農業者年金」に加入して安心して豊かな老後を！

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！

一定の要件を満たす方には、

月額最大1万円の保険料補助

加入で大きな節税効果！

保険料は全額社会保険料控除の対象

※農業者年金の加入には、
 「国民年金第1号被保険者であること」
 「年間60日以上農業に従事していること」
 「60才未満であること」
 の3つの要件を満たしている必要があります。
 ※詳しくは、お近くの農業委員会、又はJAへ！



農地転用は許可が必要です

農地転用とは・・・農地を宅地などの建物敷地、駐車場、資材置場等の用地に転換することです。

◆自分の農地を転用するとき

農地法第4条の許可が必要です。【農地の所有者が申請】

◆農地の売買又は貸借により転用するとき

農地法第5条の許可が必要です。

【農地の所有者と転用を実行する方が連名で申請】



***申請にあたっては、事前に農業委員会にご相談下さい。**

各種申請書の締切は毎月5日です

農地法第3条・4条・5条の許可申請受付及び非農地証明願は毎月5日が締切です。5日が土日・祝日の場合は締切日が変わりますので、農業委員会事務局までお問い合わせ下さい。

※農地利用集積計画作成申出書の締切は月末です。

相続による農地取得について

相続等によって農地の権利を取得した時は、農業委員会に届出が必要です。届出様式・方法については、農業委員会事務局までお問い合わせ下さい。

◆農業委員会が交付する証明書等の一部は有料となります。

(原則本人申請。代理人が申請、受領する場合は委任状が必要となります。)

- ・農地に関する証明 1件につき200円 (非農地証明・転用事実確認証明)
- ・農業経営に関する証明 1件につき200円 (耕作証明・農家基本台帳記載証明・農家証明・買受適格証明・相続税・贈与税の納税猶予に関する適格者証明)
- ・農地台帳記録事項
要約書の交付 1筆につき200円

農地は適正に管理しましょう

耕作放棄地は、冬は枯れ草が火災の原因となり、夏は病害虫等の発生の原因になり、イノシシ等有害鳥獣の隠れ場所にもなります。



全国農業新聞 農業者の視点でお届けします。

- ◆特徴のある週刊新聞 ……> 解説に力点をのいた企業編集とニュース報道
- ◆時代に鋭く斬り込む ……> 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- ◆経営に役立つ ……> 実務情報と経営マインド
- ◆読みやすく親しみやすい ……> 老若男女が楽しく読める

毎週金曜日発行
(月4回)

月700円、年8,400円
購読の申し込みは、農業委員会へ!
TEL 92-1185



〈表紙〉
高野 寛さんからの
ひとこと



トマト栽培には、土耕栽培・水耕栽培など色々な栽培方法がありますが、我が家では養液RW(ロックウール)耕栽培でトマトを作っています。

これは土の代わりに玄武岩などの天然岩石を高温で溶かし繊維状に加工したロックウールと呼ばれるものを使って、NPK(窒素・リン酸・カリウム)の三大要素とMg(マグネシウム)・Fe(鉄)などの微量要素を水に溶かし、一定時間毎に灌水して栽培する方法です。

長所としては、土壌消毒が不要、連作障害が少ないなどから、自根で長期長段取りが出来ることです。短所としては、土耕に比べ経費がかかることです。

(高野 寛)